

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 3月 15 日

事業所名 Woody放課後等デイサービス2

	チェック項目	はい	どちらともいえない		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	0	中等度～重度の知的障害の利用が多い為、特性に応じて場所を提供する工夫をしています。	法令を遵守した広さを確保し、利用定員としては適正ではあるが、活動内容によってはスペース不足を感じる事がある為その日の利用時のより使用の方法を検討しています。
	2 職員の配置数は適切である	3	2	0	適正な人員数で対応している。イベント時などはパートにも協力を仰ぎ人員を確保しています。	適切な人員配置を行っていますが送迎等で人員が少なくなる時もある為より工夫していく必要があります。また、より良い支援を行う為法令で法令で必要とされる配置数に加え新規入職した職員の育成を行い、専門性を高めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	1	数センチの段差はあるがほぼバリアフリーで対応できています。	室内に数センチの段差がある所や、2階への移動は階段となっているため、引き続き見守りや補助など安全に移動できるように配慮していきます。また、定期的な点検を行い、必要な環境整備を整えていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	0	特に休日対応時に情報共有がおろそかになりやすい為日頃から徹底して情報共有に努めてまいります。	個別支援計画に関しましては、職員それぞれのアセスメントを元に、児童発達支援管理責任者が作成しています。またその他の業務に関しても、朝礼や会議にて情報共有し、業務改善に繋げていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	評価表や保護者会後のアンケート等を実施し、ご意見をいただいています。	アンケート結果を元にスタッフ間で共有し、業務改善に繋げています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	3	外部評価は行っていません。	今後必要に応じて検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	外部や内部での動画視聴などを取り入れながら研修の機会を持っています。	研修は定期的に行っていますが、知識や技術向上のため外部、内部の研修の参加に努めてまいります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	契約時、6ヶ月に一度保護者、相談支援専門員、各関係事業所からの聞き取りを行い個別支援計画を作成しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0	テスト的に1名に対しアセスメントシートを用いて実施した。今後に網羅していく予定です。	多様な子どもの特性などしっかり評価できるよう、職員全員がアセスメントツールの活用ができるようにしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	0	月で担当を決め作成している。今後は他業種のスタッフ間で話し合い立案していく計画です。	子どもそれぞれの支援計画をもとに会議を行い、活動プログラム立案を行っていきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3	0	活動は一緒でも内容を変える等工夫をしています。	今後も様々な活動を通じて、新しい体験や楽しい時間を過ごせる様、活動内容を工夫していきます。繰り返し行う事で向上する活動に関してはアイデアを変えながら行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	大まかな計画だったが、1日の流れを固定化し、イレギュラーにも対応できるよう細かに設定する計	休日・長期休暇に関しては、休日にしかできないイベントやプログラムを作成するようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	個別や小集団、集団に分け活動しています。	個人の特性に合わせ使い分けています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	0	打ち合わせの機会を増やしてもよいと思う。朝礼後の時間を使い実施しているが、業務上行えない日もある。	毎日の朝礼にて、情報共有を役割分担等スタッフ間で統一した支援が行えるようにしていきます。共有事項に対し、抜けがないよう今後も工夫が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	問題点は話し合うようにしているが、明朝になる事もある。	毎日の朝礼にて、情報共有を役割分担等スタッフ間で統一した支援が行えるようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	ケース記録をすぐにつけるようにし、あとで読み返せるようにしている。	共有事項が抜けている事もある為、スタッフ間での共有の仕方を考えていく必要がある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	必要時にはモニタリングや支援会議を行っています。	計画の見直しは6ヶ月に一回のペースで行っていますが、今後変更が必要な場合などは話し合い、実施していく等検討行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2	1	スタッフ間で共有を行い、総則に沿った支援を行っています。	改めて職員でガイドラインの総則を見直す等して、よりよい支援に繋げていきます。
	関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0	児童発達管理者がスタッフ間で会議を持ち、担当者会議に参加しています。
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	学校への送迎時に学校での状況やご家庭からの申し送り、放デイでの過ごし方や課題等共有しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	0	現在受け入れ児童はいません。	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	0	家族の許可があれば積極的に会議などに参加し、情報の共有に努めています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ			
との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	0	担当者会議に参加し、利用時の情報共有に津おTめています。必要があれば就労先への訪問も行っています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	現在、別発の専門機関の施設支援を問い合わせしています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	5	利用時の兄弟児との関わりを持つ機会等で交流を持っています。	機会があればイベント等を計画していきたいです。	
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	1	3	0	未参加です。		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	0	送迎時、モニタリング時に保護者との連携を取っています。保護者からの希望があれば随時事業所	送迎時にお伝え出来ない場合は、連絡帳や電話などで情報共有しています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3	2	現在は行えていません。今後保護者会等で実施予定です。	保護者会時に要望があった事もあり、開催時に色々な研修を兼ねた保護者会を開催していけるよう計画しています。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	0		利用契約時に説明はしておりますが、不明な点などあれば随時説明を行っています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	要望のあった時や送迎時では解決できない時など事業所相談で時間をもち保護者支援を行っています	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	0	コロナが第5類になった為今年度実施しました。	実施後アンケートをとり、集計しました。今後に繋げてまいります。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	委員会を設置し、迅速に対応できるよう心掛けています。	委員会で集計し、共有、整備に努め、責任者から迅速に対応していく流れを取っています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	0	SNSでの発信を中心にしています。	今後もお手紙やHPやSNSなどにてお知らせしていきます。	
	35 個人情報に十分注意している	5	0	0	スタッフには周知徹底を行っています。	個人情報の取り扱いに対しては保護者との同意書やスタッフ教育として行っています。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	0	ホームページに掲載しています。	保護者にも周知して頂ける様、定期的に各マニュアルをお手紙等で配布するなど検討いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	月に1～3回避難訓練を行っています。	映像での学習、実践訓練に繋がっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	委員会を設定し研修を実施しています。	引き続き虐待防止に繋がてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0	身体拘束の同意書を取って対応しています。	身体拘束と思われる場合は保護者への説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	アレルギーの情報を保護者から聞き取り周知徹底しています。	情報の共有に努めてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	作成しています。	委員会を設定し検討を行い、さらに月に一回の全体会議で共有し検討しています。